

こもれびの森 ウッドランドクラブ通信11月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2012年11月25日発行(発行責任者 島貫房雄)
栗原市花山字草木沢角間10-7 tel/fax 0228-56-2330

昨年に引き続き「キノコ写真展」を開催中です。さっそく来館者が「このキノコは食べられますか？」返答に困ります…。食べられるキノコと言われていても、食べ方や調理の仕方、その日の体調によっても中毒する場合があります。いずれにしても確信のないキノコは食べない方が無難です。(写真提供:長谷川サポーター)

11月3日は「ノルティックウォークinこもれびの森」が開催されました。講師は協会の大原さん、吉田さん、須長さん。ノルティックウォークは全身運動で健康に良いことやポールの持ち方、歩き方を丁寧に教えていただきました。すっかり色づいた森の中での自然観察や森林浴も格別です。気持ちがいいのか、皆さん笑顔があふれています。下山後は、スタッフが用意してくれた心づくしの芋煮で交流を深めました。

11月17日、花山小学校で開催された「さくら岡まつり」に参加しました。地元の人たちと児童の手作りの交流イベントです。森林科学館の出し物はネーチャークラフト。竹笛、松ぼつくりのフクロウ、それとペットボトルを利用した風見鶏かざみどりです。風見鶏の材料は協会の相馬さんからのご提供で、分かりやすい作り方マニュアルまで付属していました。ご支援ありがとうございました。当コーナーは大人気？人が絶えません。トイレに行く時間もないくらいでした。地元の方のお手伝いは大変助かりました。山ぶどうのホットジュースや蕎麦がきの差し入れもありました。地元の人たちは皆さん優しいです。

花山小学校の児童は皆、礼儀正しい！出来上がった作品を手にした子どもたちは必ずお礼を言います。来年も、又参加したいと思います。



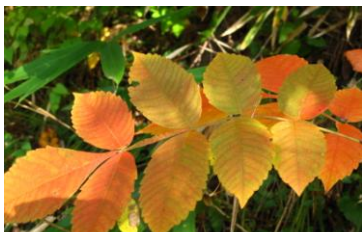
恒例のキノコ写真展



こもれびの森(一松山県有林)



地元の中学生の御神楽演舞



ヌルデ(ウルシ科) 軸に翼がついているのでよく判ります



ハウチワカエデ(カエデ科)

しま所長のコラム・・・チョットお勉強！

～「紅葉の仕組み」について～

樹木の葉は、クロロフィル(葉緑素)の緑の色素と、カロチノイドの黄色い色素を持っています。普段はクロロフィルの量が多いので緑色に見えます。秋が深まると、クロロフィルが先に分解されてカロチノイドが残り、葉が黄色く見えます。

一方、秋になると葉を落とす準備のため、葉柄と枝の境に離層りそうと呼ばれる層ができます。すると光合成で作られた糖分などの移動が遮断しやたんされて葉に蓄積し、アントシニアンという赤色の色素に変化することがあります。アントシニアンの生成には日光が関係していて、日当たりよいほど赤色に、日陰なら黄色に変化します。

左のハウチワカエデは見事に赤色と黄色い部分とに分かれています。(写真は森林科学館前のハウチワカエデ)

(参考)紅葉ハンドブック 文一総合出版

こちらは11月19日に初雪が降りました。森林科学館の前の県道249号線も22日に冬期間の通行止めのゲートが閉まりました。当館も閉館の準備で慌ただしいです。もうその時期と思うと、ちょっと寂しい気がします。いろんなこと思い出しています。来館の方に満足していただけたりうか？放射能のこと、事故や怪我はなかったか？来年はどんなイベントをやるうか？園内の整備は？などなど…

どうか皆さま、来春再会するまでお元気で過ごしてください。